ベイビーロスアウェアネスウィークの取り組み

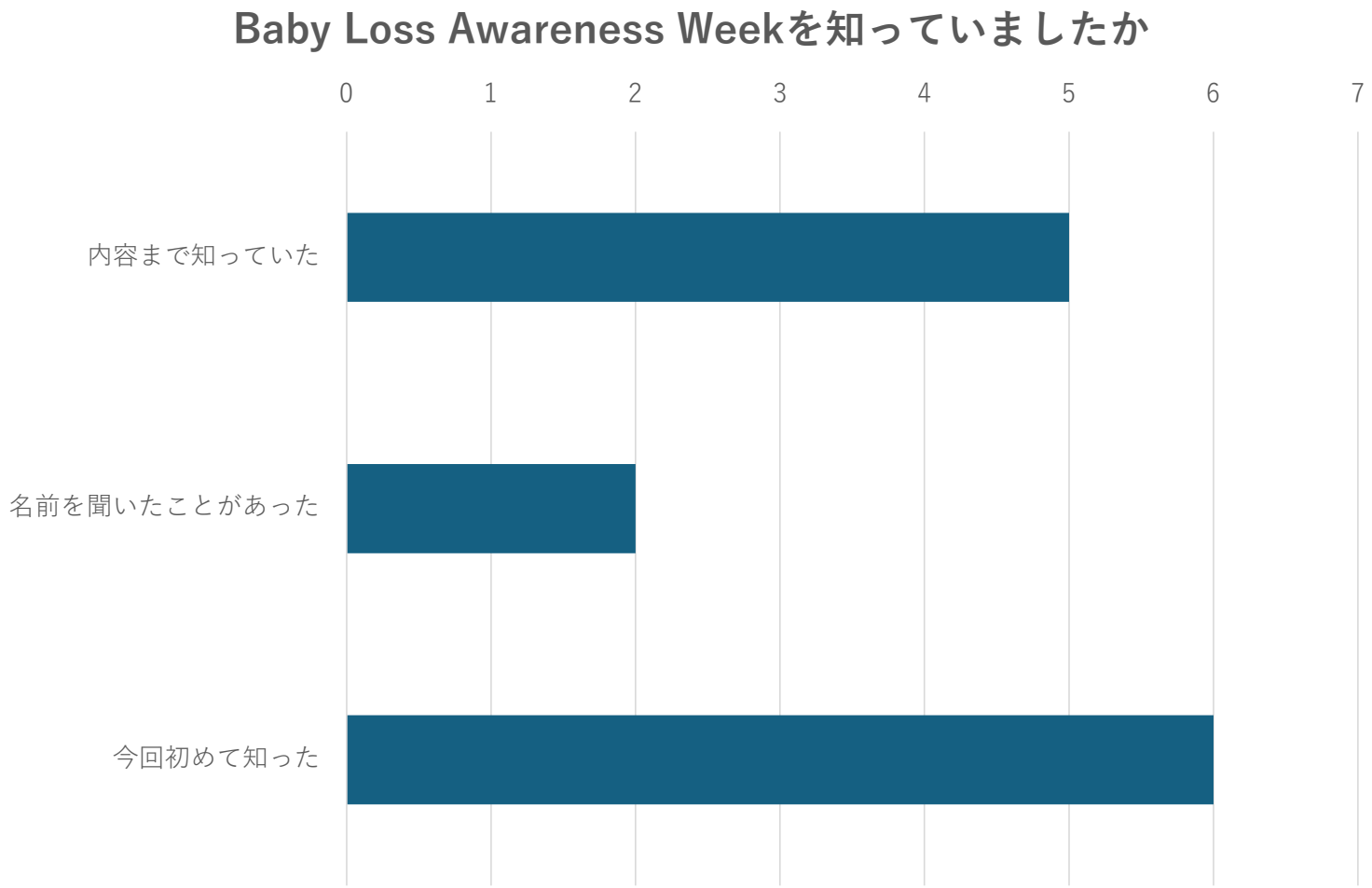
アンケート集計結果

【アンケート期間】

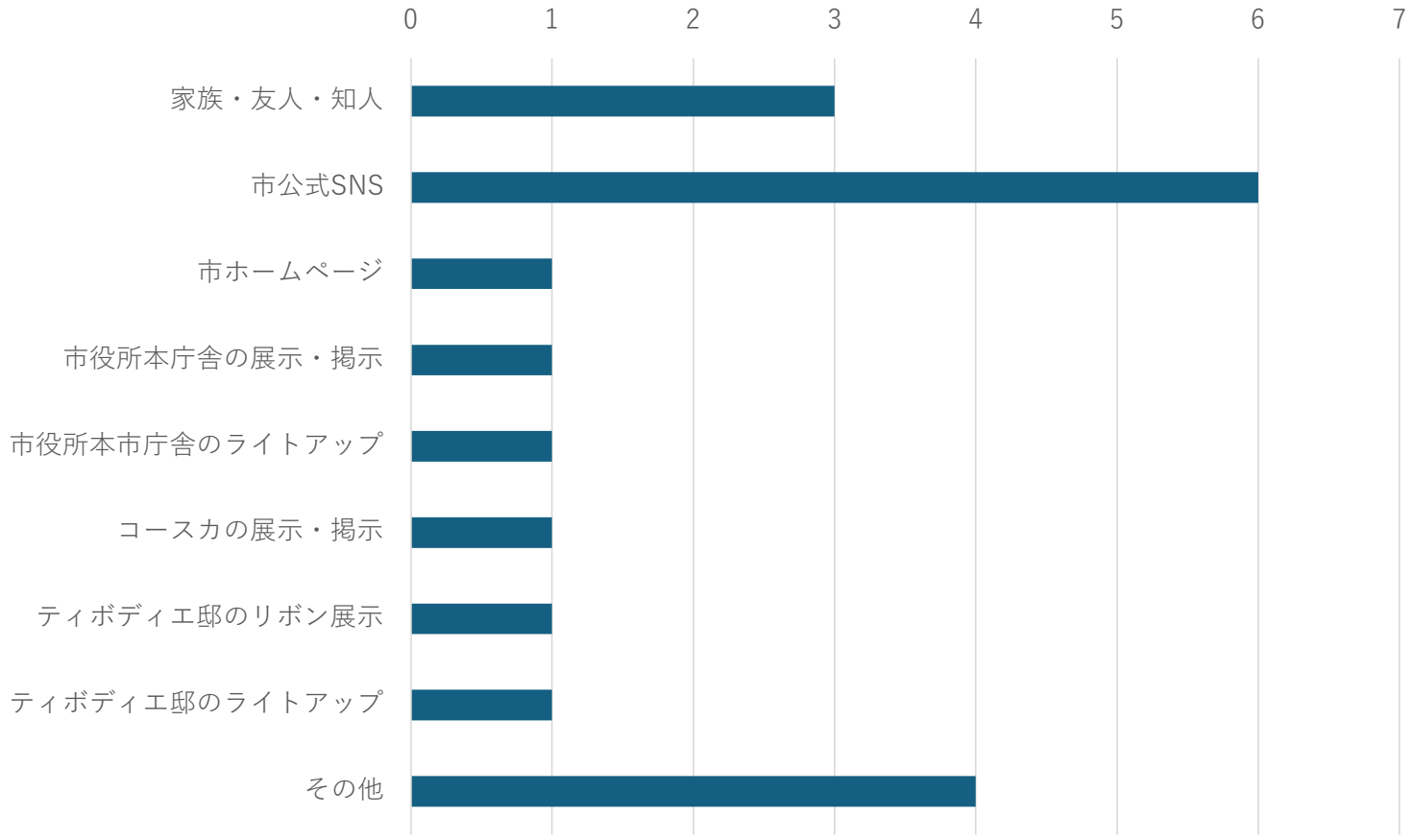
- 2026年10月9日～15日
- e-kanagawaにて回答

【アンケート結果】

- 回答数：13人

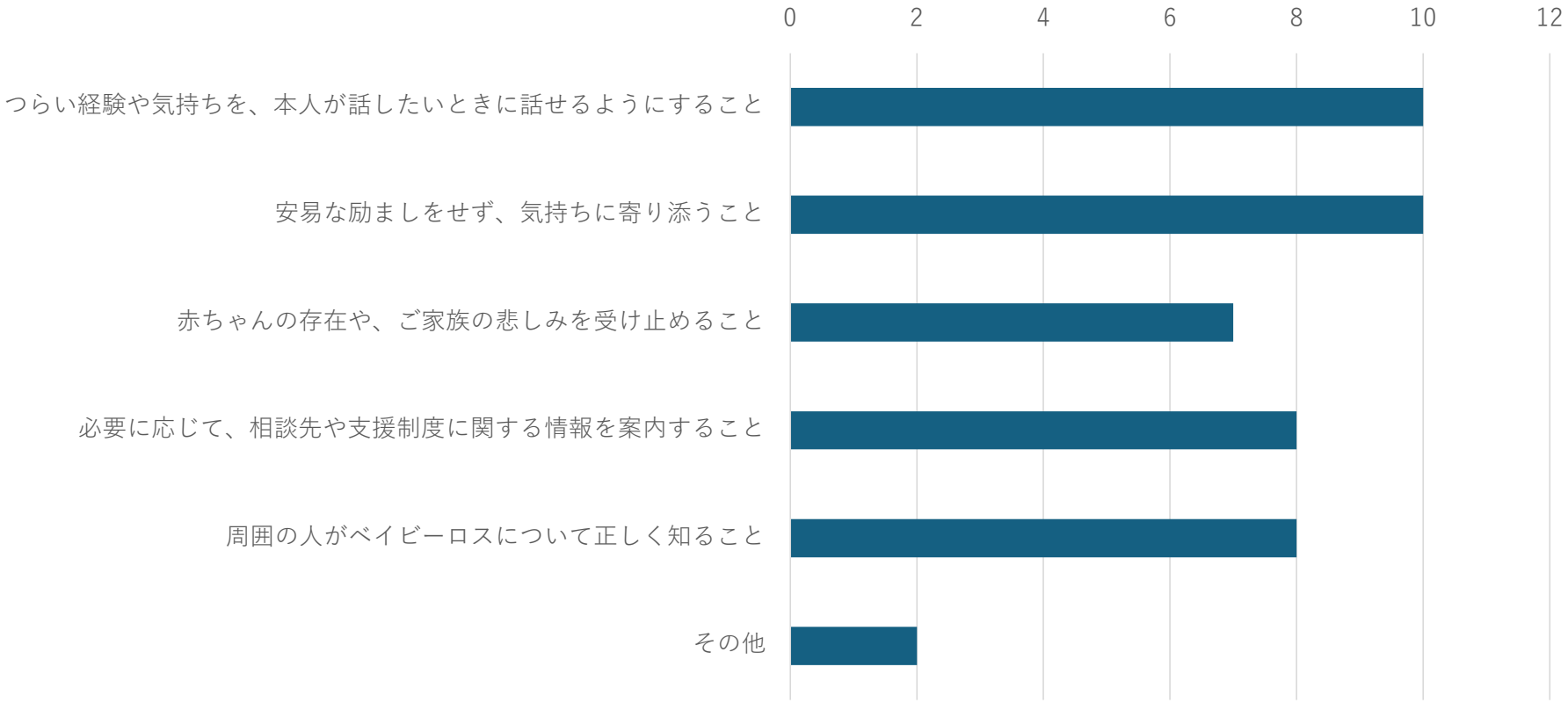

Baby Loss Awareness Weekを知っていましたか
0
1
2
3
4
5
6
7
内容まで知っていた
名前を聞いたことがあった
今回初めて知った

今回の取組を何で知りましたか（複数選択）



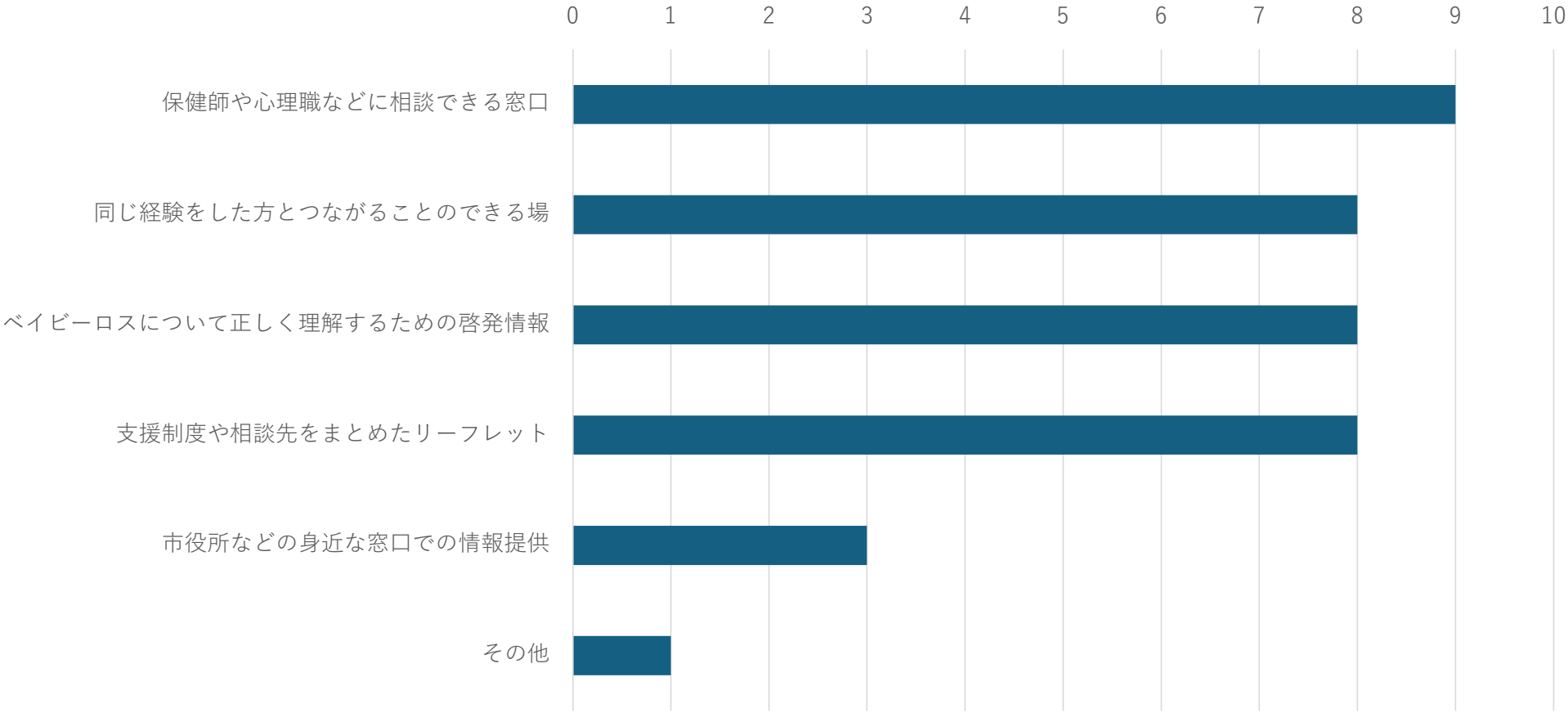
その他の内訳）X、Instagram、藤野市議のSNS、議員のポスト

流産や死産などで赤ちゃんを亡くされたご家族に対して、どのような理解や配慮が必要だと思いますか（複数選択）



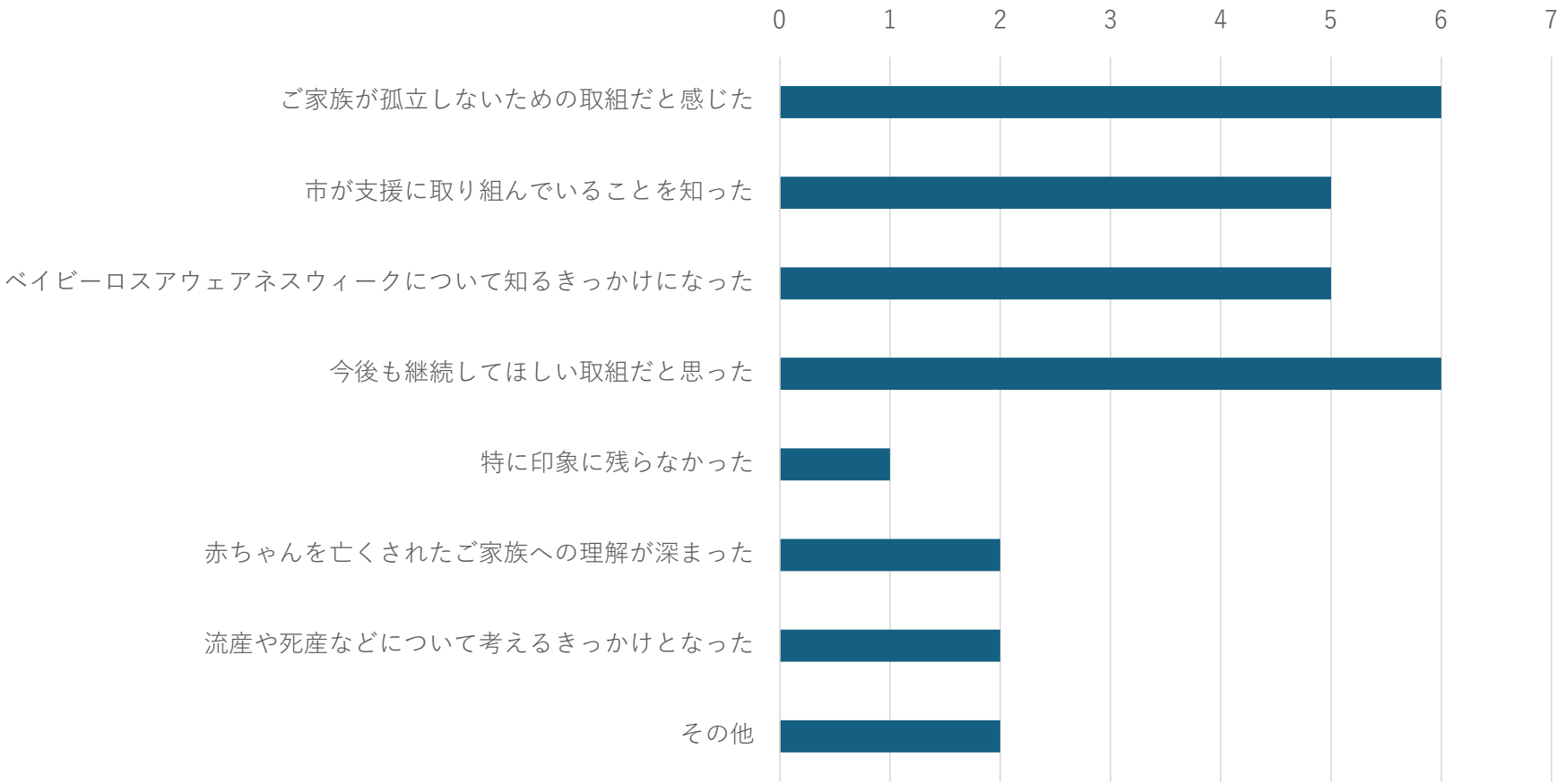
その他の内訳）・何もしないでほしい。
・早期にきょうだいを亡くした人間がおとなになると【ひとりっ子】扱いされて孤立している事案を数件見てどう

ご家族にとって、どのような支援や情報が必要だと思いますか（複数選択）



その他の内訳）こういうイベントをしないでほしい

今回の市の取組をどのように受け止めましたか（複数選択）



その他の内訳）・勝手に哀しんで勝手に気持ちが落ち着くまでそっとしておいて欲しい
・なんで今回ティボディエ邸期間中のライトアップないのか

意見

- 私は横須賀ではないですが毎年横須賀で行われてる事を羨ましく思います。去年はライトアップしてくれましたが市はそこまで問題視してないのか毎年ではありません。一年に一回なのでこんな感じに皆さんが一つになれるような交流日がほしいなと思って願ってます。

- 妊娠初期に流産した時、初期に流れる子は産まれても育たない子なのよ。とか慰めなんだろうけど、いろいろ言われた。義母に供養したいと言ったら「水子は祟るわよ」と言われた。当時(30年前)若かったので、何も言えず。今はSNSも普及しているので、正しい情報を共有出来るよう、行政の働きかけがあったら良いと思います。

- 自分自身は、10年ほど前に不慮の事故で子どもを亡くしています。当時、子どもは生後10ヶ月でした。流産・死産を経験された方とは少し状況が違いますが、それでも子どもを突然失う悲しみは、何年経ってもあの日そのままの温度感で残り続けています。当時は別の自治体に住んでいましたが、相談先などの情報はなく、警察から渡された「犯罪等被害者の方へ」という冊子に多少の公的支援(公団住宅の優遇など)の情報があったのとカウンセリングの案内があった程度でした。ただ、ショック状態だったため記憶が曖昧です。なかなか同じような経験をした方と繋がる機会がなく、周りに言っても心配させるだけ、気を遣わせるだけと思い、当時を知らない人には子どもがいたことを黙って過ごした期間もあります。なかなか人には打ち明けづらい話、でもひとりで抱えるのは辛い。同じような思いをした人たちに共感したり出来ることはある立場になったけれど、その場がほとんどない、というのが現状かと感じています。なので匿名で応募できるような、同じような経験をした方向けの交流の場があると良いのかな、と思います。

意見

- 赤ちゃんを亡くされた方、亡くされた方のご家族がどういった支援や心の拠り所を必要としているのかをもっと知りたい。寄り添う気持ちの向こう側、周りができることをもっと知りたい。

- 私自身も最近子宮外妊娠により子供を亡くしました。中々周りに居ないと思っていたのですが、身内に数人同じように流産などを経験している人がいることを知り、本当はもっとたくさんの方が悩んだり悲しい想いをしているのではないかと思っていました。今回のようなイベントがあること自体知らなかったのですが、こういったイベントは当事者たちにとっても心の拠り所になると考えていますので、ぜひ今後も継続して頂きたいです。

- わたしは10年以上前に生後2ヶ月の娘を亡くしました。窒息であることは分かっていますがなぜ窒息したのかは不明です。(異物などは無かったです。)院内もしんどいと思いますが自宅での死亡はもちろん警察が関与します。病院の処置室を出たら警察官が待っていてそのままパトカーで警察署にいき、そこから数日間に渡り調書を取られます。子供は司法解剖のため帰ってこれません。わたしはクリスマスの二日前に子供を亡くし、司法解剖が終わったのは年末でした。それが社会のこともなにも知らない20歳のときです。とても哀しみに暮れ他の人から流産した話を聞かされたり、わたしには息子もいるため長男がいて良かったね。独りじゃないもんねと励まされた記憶がありますが全て要らない言葉でした。人と関わりたくない、その事に対してなにも触れないで欲しいこどものことを泣かずに話せるようになるように10年以上の月日が経ちました。子を亡くすというのは親を亡くすのとは訳が違います。本当にそっとしておいてほしいです。